

保護者による学校づくりアンケート集計結果

春の訪れを感じる季節を迎え、今年もまとめの時期となりました。保護者の皆様には、平素より教育活動への多大なるご理解やご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

過日、保護者の皆様には今年度の学校評価アンケート（学校づくりのための学校評価アンケート）にご協力いただき、ありがとうございました。次の通り集計結果をご報告させていただきます。また学校では、いただきましたご意見をもとに今年度の教育活動について振り返りを行い、今後も家庭や地域と一体となったよりよい学校を目指し、さらに充実した教育活動を進めていけるよう努めてまいります。引き続き、保護者の皆様のお力添えを、よろしくお願いいたします。

（1）全体傾向について

【アンケートⅠ「お子さんの学校生活について」】5つの項目について、保護者の皆様が、お子さんの姿を通して感じる達成度を4段階で選んでいただきました。

【アンケートⅡ「本校の教育活動や取組の様子について」】本校の主な教育活動や取組10項目について、その達成度を4段階で選んでいただきました。

全体的には、肯定的評価「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の合計の割合について昨年度と比較してみると、15項目中9項目が向上していました。また6項目が80%を超えており、全体的には高い評価をいただきました。

一方、割合としては1.9%~8.7%と低いものの、「そう思わない」「わからない」と回答されている方もいらっしゃることを大切に受けとめ、改善へとつなげていきたいと考えております。

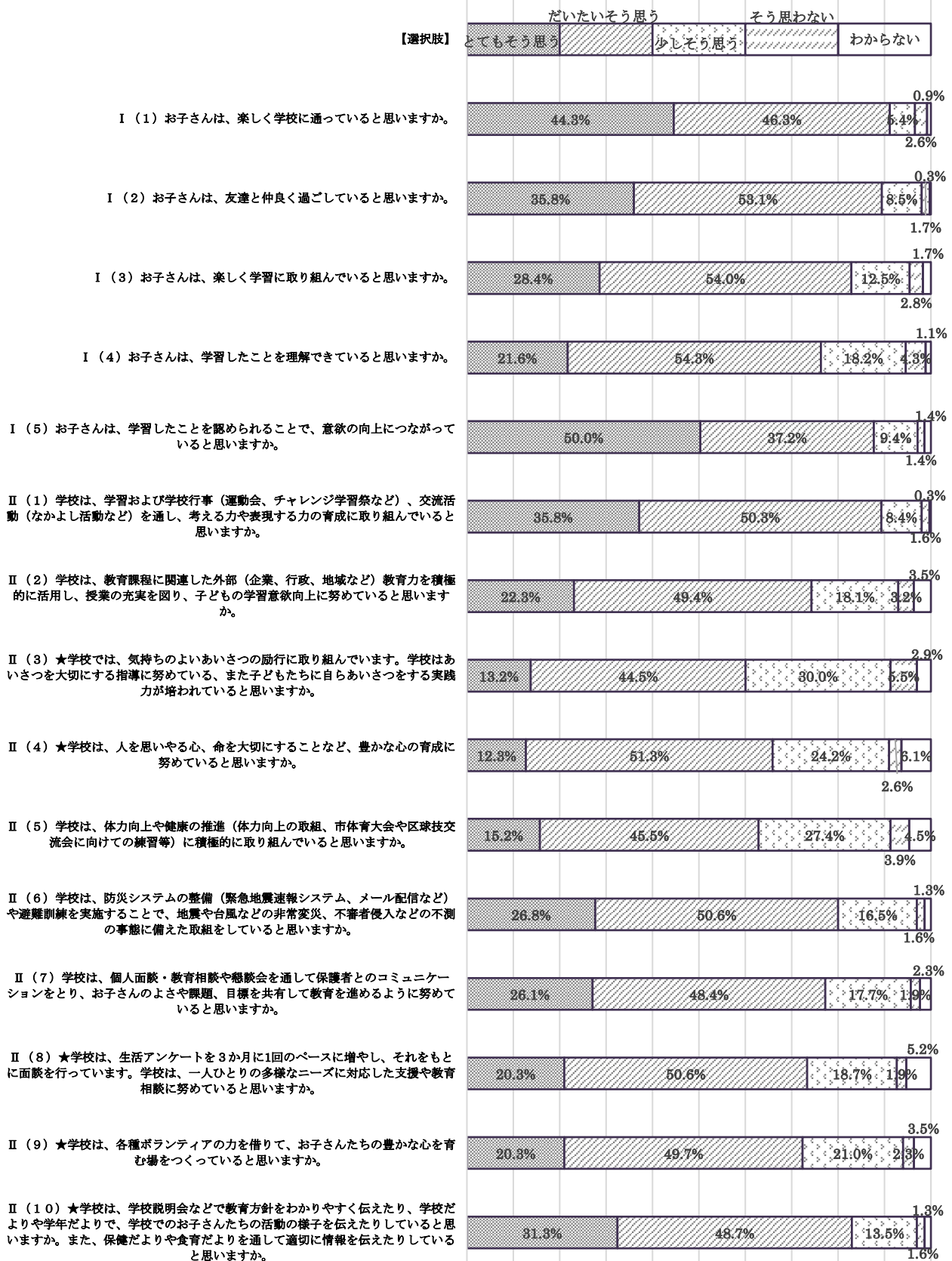
特に、Ⅱ（4）「学校は、人を思いやる心、命を大切にすることなど、豊かな心の育成について努めていると思いますか」の設問への回答として、8.7%の方が「そう思わない」「わからない」と回答されている方がいらっしゃることを、次年度の大きな課題と捉え、「豊かな心の育成」の充実に努めていきたいと考えております。

また、Ⅱ（3）「学校はあいさつを大切にしている指導に努めている、また子どもたちに自らあいさつをする実践力が培われていると思いますか」の設問では、5.5%の方が「そう思わない」と感じており、こちらも引き続きの課題の一つとして受け止めていきたいと考えております。

本結果は、2月の学校運営協議会の皆様にも協議していただきました。その際、「子どもたちのあいさつの様子」については、学校と保護者・地域が連携協力しながら、あいさつを交わせる関係づくりについて考えて実践していくことが大切だというご意見をいただきました。

【平成30年度 学校づくりアンケート】（回収率59.8%）〔保護者による学校評価 I・II〕

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



【アンケートⅢ「学校教育への願い」】

本校の教育活動を進める上で、特に大切にしてほしい力（学校生活を通してお子さんに身に付けさせたい資質・能力）を5つ選択していただく形式でアンケートを実施しました。

項目 E「自らを律する態度と人を思いやるやさしさ」（64%）、項目 B「主体的に考え、意欲的に学び続ける力」（62%）、項目 A「基礎・基本を身に付け、自ら問題を発見し、よりよく解決する力」（58%）、項目 D「自分を大切にし、しなやかに生きる力」（48%）、項目 J「自分の役割や働くことの意義を理解し、行動する力」（43%）は、半数以上あるいは半数近くの保護者の方が選択された資質・能力です。

また、教職員への同種のアンケートでも、項目 E、項目 Bの資質・能力は高い選択率でありました。教育活動を進める上で身に付けさせたい資質・能力について、保護者の願いと教職員の思いが重なることが確認できました。

（2） 自由記述欄について

以下のように幅広い角度から貴重なご意見をいただきました。真摯に受けとめ、今後の学校づくりにいかして参ります。

- 児童の授業態度について
- 児童への個別の配慮について
- 保護者との連携について
- 評価について
- 中学校との連携（行事の重なりへの配慮）について
- ホームページの充実化について
- ボランティア活動について
- 想像力・発想力・相互尊重等、大切にしたい資質能力について
- 協働・協力等、学校ならではの体験や学びへの期待について

